



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の
配分金で発行されています。

昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第786号
令和3年6月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州

社会福祉 HERO'S vol.12

詳しくは巻末をご覧ください。



特集
特集タイトル

No.
786
2021 7月号

福祉の現場で活躍する
ヒーローたちをご紹介します。



郷原つつじ保育園
社会福祉法人 つるみね福祉会
郷原つつじ保育園職員の皆さん



webでも
ご覧になれます



キャプション



キャプション

待 児童問題の解決に向けて、児童養護施設を運営する社会福祉法人つるみね福祉会は、令和3年4月に小規模認可保育所郷原つつじ保育園を開所しました。開所にあたり、クラウドファンディングを活用して寄附を集め、園児が使う食器やテーブル、おもちゃ等を購入するなど、地域とのかかわりを重視して運営をしています。園長の金澤理恵さん、クラウドファンディングを担当した保育士の澁谷未希さん、同法人で長野県児童福祉施設連盟会長であり、児童養護施設つつじが丘園長の川瀬勝敏さんにお話を伺いました。

金澤 親御さんが信頼してお子さんを預けられるよう安心で安全をモットーにしています。保育園の設計の段階から、ドアで手を挟まないように、また、コンセントやカギの高さも意識しました。豊かな自然に囲まれた土地なので、地域の方にも保育園を利用していただながら、ゆったりと丁寧に運営していきたいです。

澁谷 クラウドファンディングは初めての経験なので大きなプレッシャーでした。お金を集めるためにプロジェクトの目的をどう伝えていくか、どうしたら多くの方の目に留まってもらえるか、職員同士で励まし合いながら、チラシを持って足で稼いでたたくさんのつながりができました。苦労は多かったですが購入した木製のあたたかみのあるおもちゃで遊んでいる姿を見ると、感謝の気持ちでいっぱいです。

川瀬 コロナ禍で人とのかわりが減っていく中、令和時代は、人とかわかることでもっと幸せになれるという価値観を作っていきたいです。令和が二十歳になること、ここにいる子どもたちが大人になって地域に戻ってきて小さい子どもたちと一緒に遊べる、そんな保育園や社会になってほしいと願っています。

川瀬さんは今回のプロジェクトを通じて、子どもたちの夢が広がり、創造性が芽生え、毎日の生活がhappyに、さらに、子どもと大人がかかわることで人生がもっとhappyと感じる経験を増やしたい。そして、その経験が地域に広がり、新しい家族のカタチが作られ、多様性の中でお互いに支えあいながら暮らしをサポートし続けていけたらと想いを語りました。

●ご感想、お問合せ、
掲載希望等は下記へ
お寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail kikaku@nsyakyo.or.jp

webでもご覧になれます

長野県社会福祉協議会 福祉・介護べり帖



長野県福祉研修実施団体 きやりあねっと 信州福祉・介護のひろば



ざわめくアート 『無題』

作者:米持 慎吾 (よねもち しんご) 22歳
上田市在住



ザワメキアート展2019で入選した時の米持さんの絵は、駅員さんや道路工事の重機を動かしている人、信号機などであった。なぜか首が傾いていたりとてもユニークな絵だった。久しぶりに彼が通う福祉事業所に伺って、最近の絵を見せてもらい、僕の頭の中は?マークが駆け回り、あんぐりと口を開けるばかり。最近の米持さんの関心(それを人はコダワリともいう)はフクラハギだそう。たくましいフクラハギだ。指の先まで力が入っている。なんでこんな足の格好なのか?そしてなぜか女性の顔はキティーちゃんのマスクで隠されている。なんという大胆な絵だろう。ナゾは深まるばかり。イヤハヤかなわねえなあ、と僕はつぶやいたのだった。

(ながのアートミーティング 取材)